一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.4.23	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。
単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年4月
測定箇所:敷地境界(5箇所)
測定方法:地上1mの高さで測定
測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	4月3日	4月10日	4月17日	4月25日
測定結果(平均)	0.029～0.055	0.036～0.047	0.029～0.047	0.030～0.042

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.5.7	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年5月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	5月2日	5月8日	5月12日	5月21日	5月26日
測定結果(平均)	0.036～0.047	0.033～0.051	0.033～0.049	0.033～0.046	0.034～0.052

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.6.4	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。
単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年6月
測定箇所:敷地境界(5箇所)
測定方法:地上1mの高さで測定
測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	6月5日	6月12日	6月17日	6月25日
測定結果(平均)	0.030～0.055	0.041～0.051	0.038～0.049	0.028～0.046

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.7.2	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年7月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	7月1日	7月9日	7月16日	7月24日
測定結果(平均)	0.038～0.052	0.033～0.046	0.027～0.046	0.033～0.065

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.8.6	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。
単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年8月
測定箇所:敷地境界(5箇所)
測定方法:地上1mの高さで測定
測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	8月1日	8月6日	8月12日	8月19日	8月29日
測定結果(平均)	0.035～0.047	0.036～0.054	0.046～0.058	0.039～0.057	0.031～0.050

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.9.3	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年9月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	9月4日	9月10日	9月16日	9月22日
測定結果(平均)	0.029～0.059	0.031～0.048	0.025～0.052	0.029～0.039

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.10.1	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	下流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年10月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	10月2日	10月9日	10月14日	10月20日	10月27日
測定結果(平均)	0.034～0.050	0.031～0.049	0.028～0.055	0.032～0.042	0.032～0.052

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.11.5	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	中流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年11月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	11月5日	11月11日	11月19日	11月25日
測定結果(平均)	0.030～0.046	0.025～0.043	0.030～0.050	0.045～0.057

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R7.12.3	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	中流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和7年12月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	12月1日	12月8日	12月15日	12月23日
測定結果(平均)	0.029～0.046	0.030～0.048	0.029～0.056	0.030～0.048

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R8.1.7	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	中流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和8年1月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	1月5日	1月16日	1月20日	1月27日
測定結果(平均)	0.033～0.061	0.033～0.063	0.035～0.053	0.042～0.056

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R8.2.6	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	中流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和8年2月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	2月5日	2月12日	2月18日	2月26日
測定結果(平均)	0.042～0.056	0.039～0.056	0.040～0.056	0.040～0.055

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。

一般廃棄物最終処分場の放射性物質の測定結果について

当組合の一般廃棄物最終処分場(緑埜クリーンセンター)では、構成団体(藤岡市、高崎市(吉井町区域))の一般廃棄物焼却施設である藤岡市清掃センター及び高崎市吉井クリーンセンターから搬入される焼却灰等の埋立処分を行っております。
埋立物や浸出水の処理により発生した放流水・地下水・観測井戸(上流・中流(又は下流))の放射性物質の濃度を測定しましたので、結果をお知らせします。

1　放射性物質の測定結果

何れも検出されませんでした。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137	セシウム合計
緑埜クリーンセンター	放流水	R8.3.5	不検出	不検出	不検出
	地下水		不検出	不検出	不検出
	上流井戸		不検出	不検出	不検出
	中流井戸		不検出	不検出	不検出

注) 高崎市から搬入される焼却灰等の放射性物質の濃度については、高崎市のホームページによりご確認下さい。

2　空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果は下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定年月:令和8年3月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:㈱堀場製作所 PA-1000

単位:マイクロシーベルト/時間

	3月6日	3月13日	3月19日	3月29日
測定結果(平均)	0.041～0.052	0.030～0.051	0.036～0.049	0.035～0.053

※「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23μSv/hです。

検出方式については平成24年7月より、従来の「RDS-30」から、より精度の高い「NaIシンチレーションサーベイメータ」に変更しました。